建保中殿御會圖

全

亥二
32

国立国会図書館　タイトル『建保中殿御会図』　請求記号 亥二-32

建保中殿御會圖

全

亥二
32

国立国会図書館　タイトル『建保中殿御会図』　請求記号 亥二-32

順德院御字

建保中殿御會圖

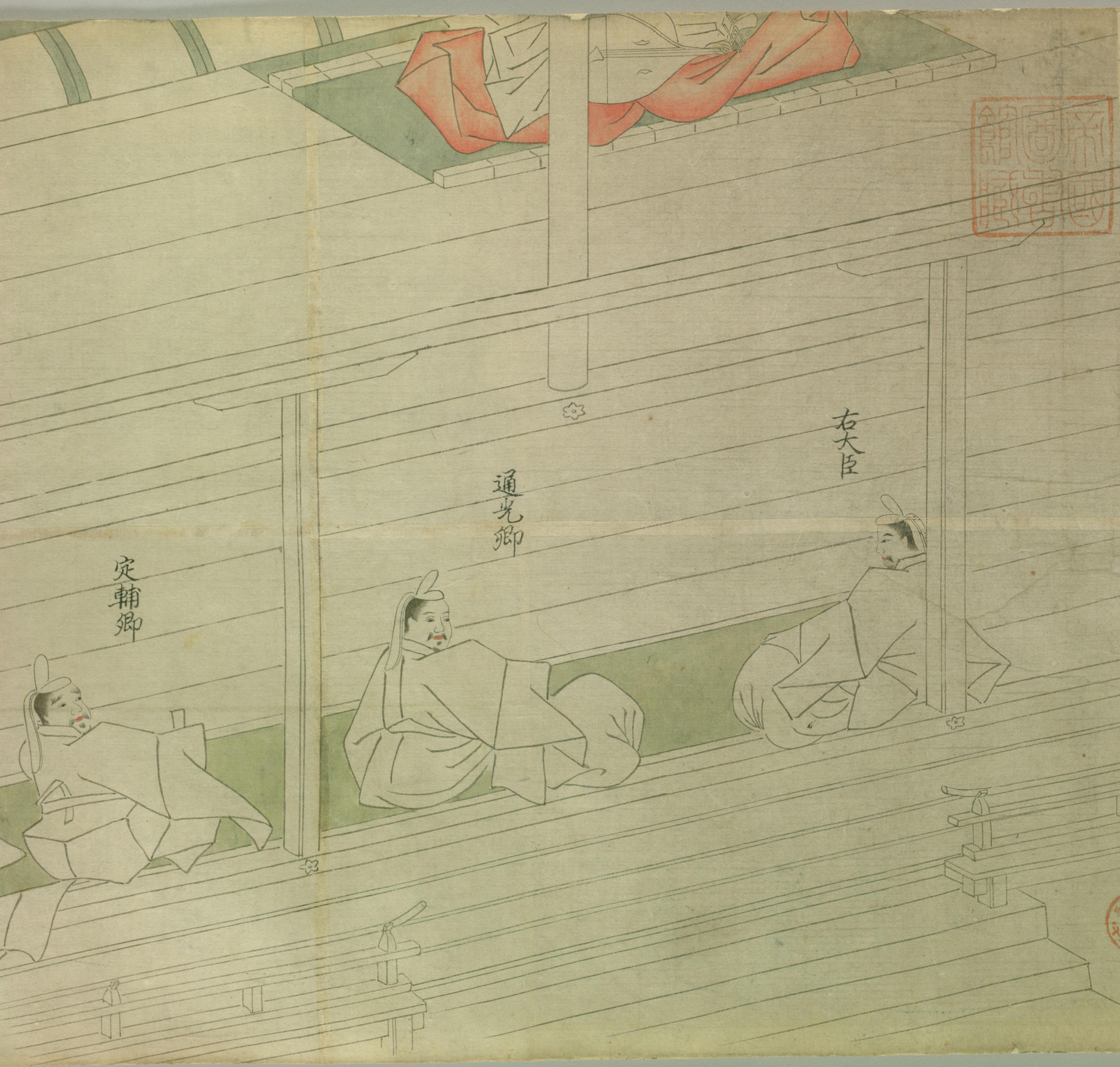
和哥樣式

国立国会図書館　タイトル『建保中殿御会図』　請求記号 亥二-32

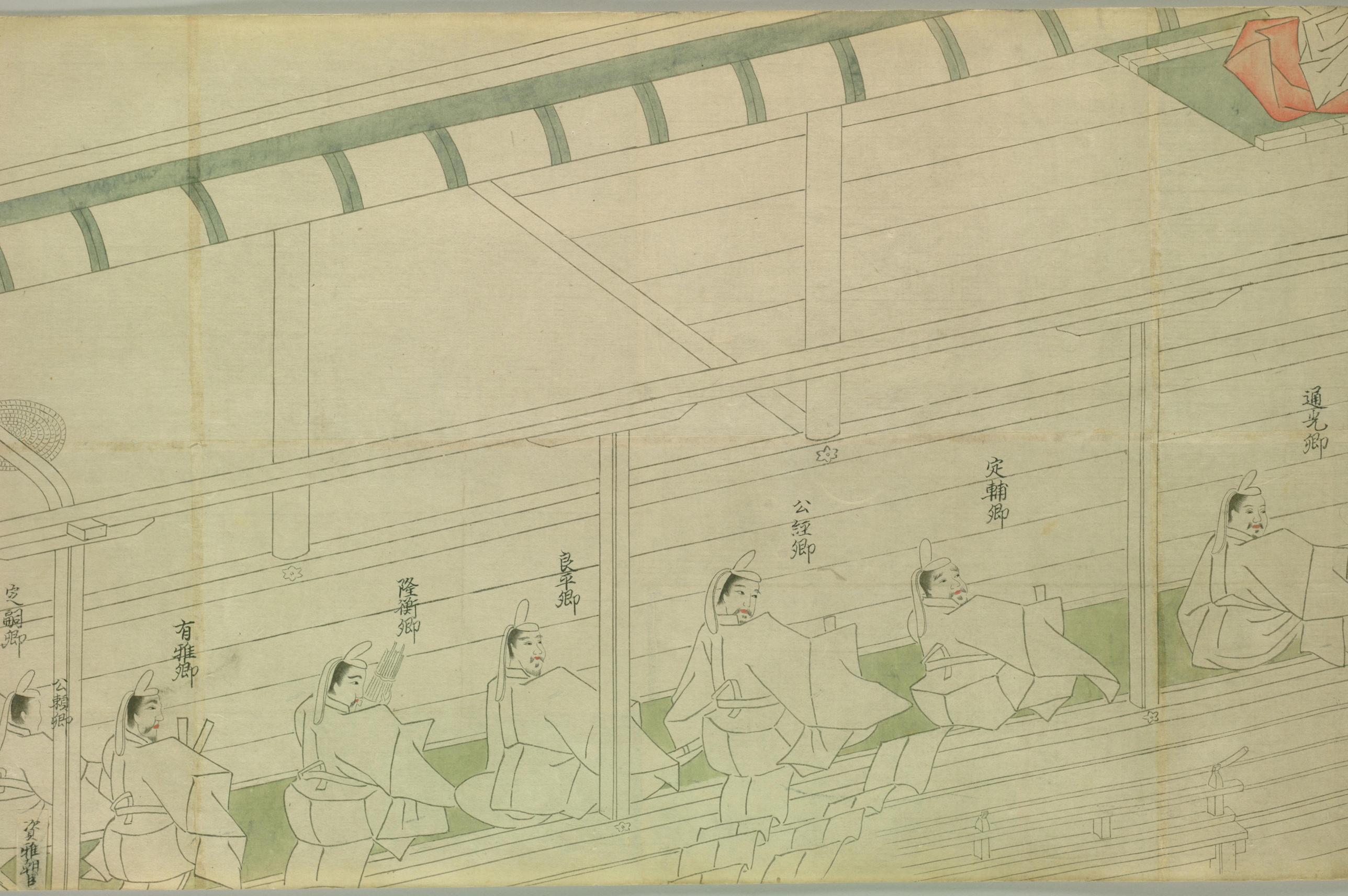
順德院御字

建保中殿御會圖

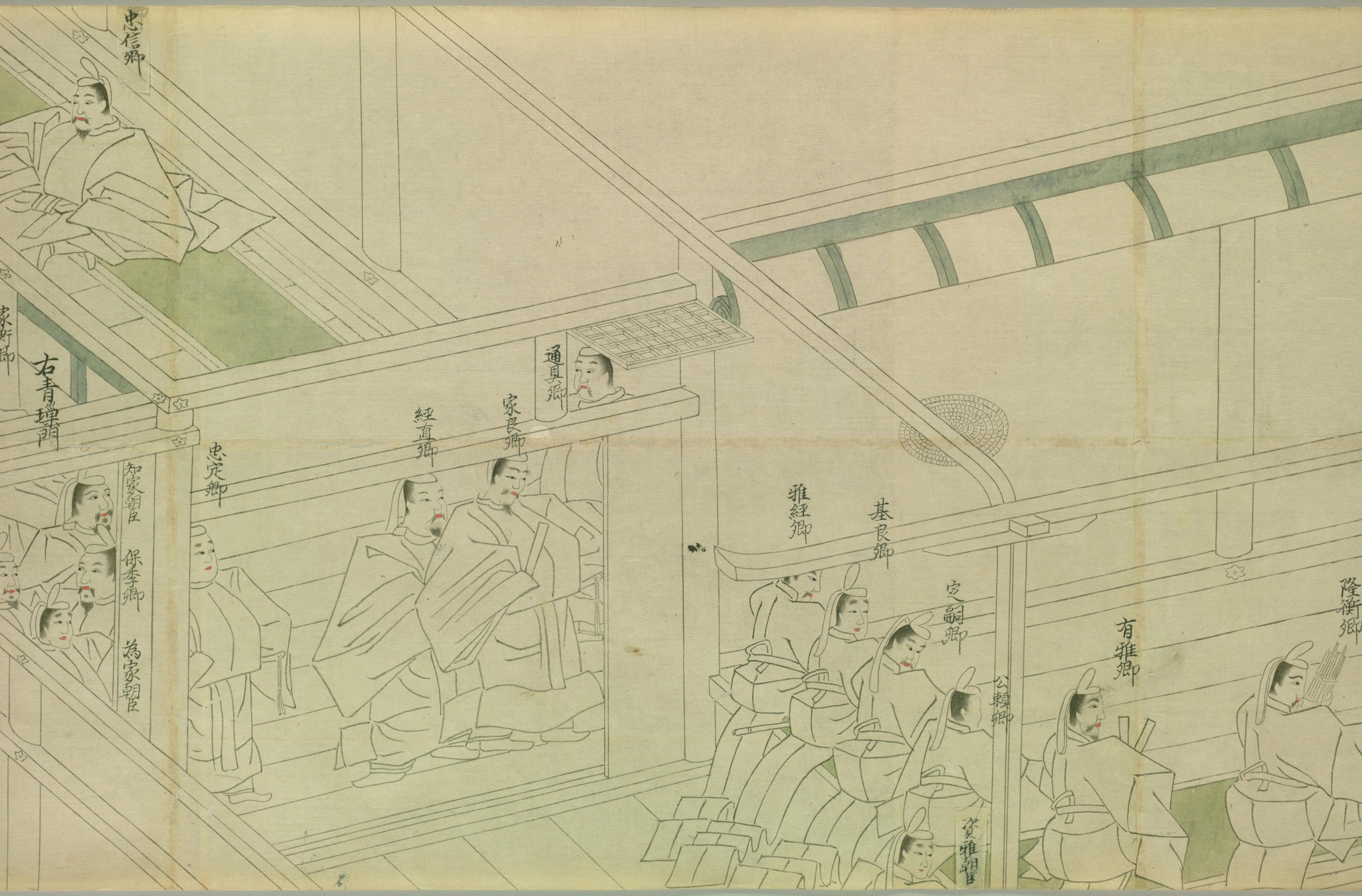
和歌樣式



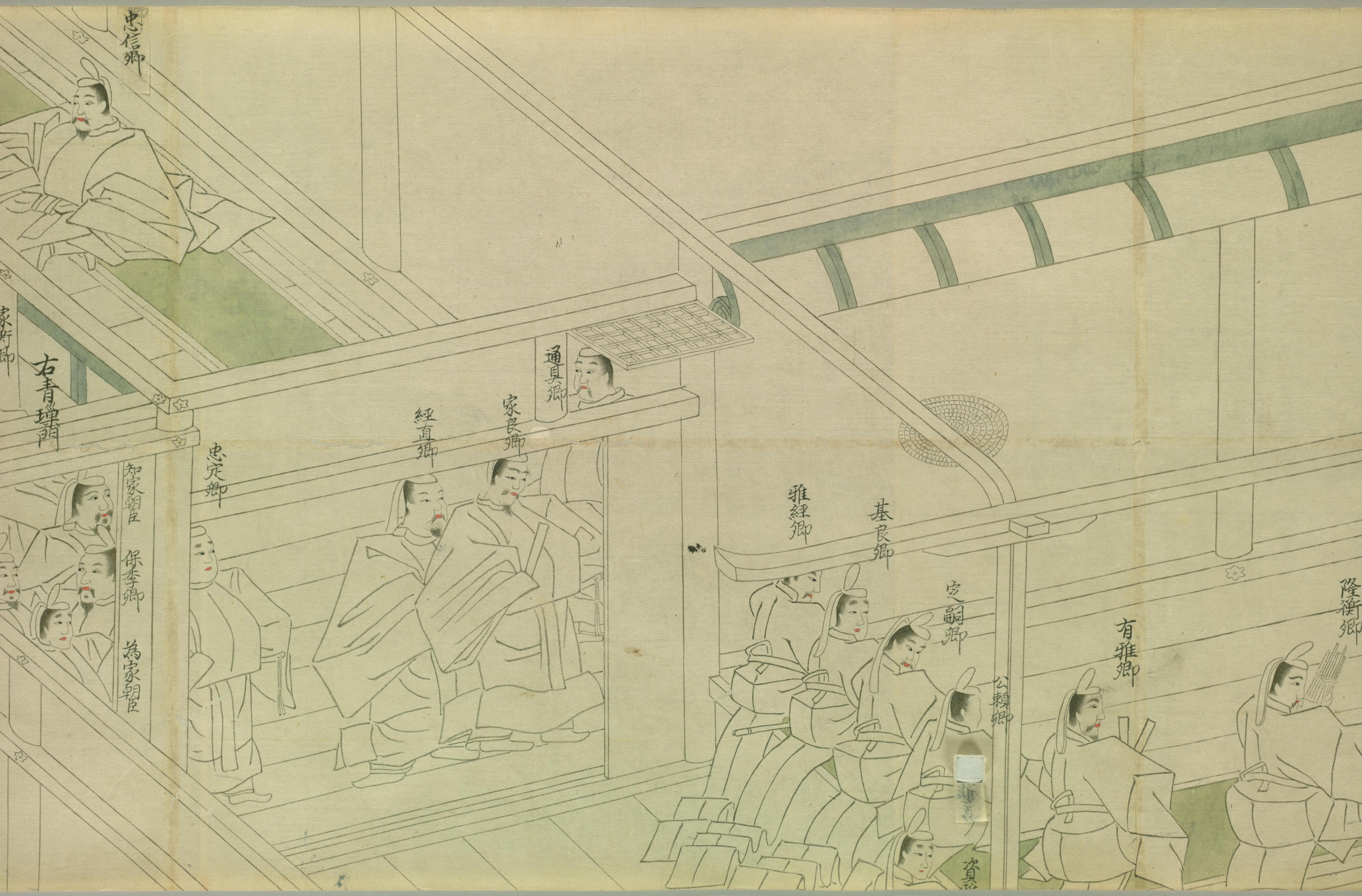
国立国会図書館　タイトル『建保中殿御会図』　請求記号 亥二-32



国立国会図書館　タイトル『建保中殿御会図』　請求記号 亥二-32



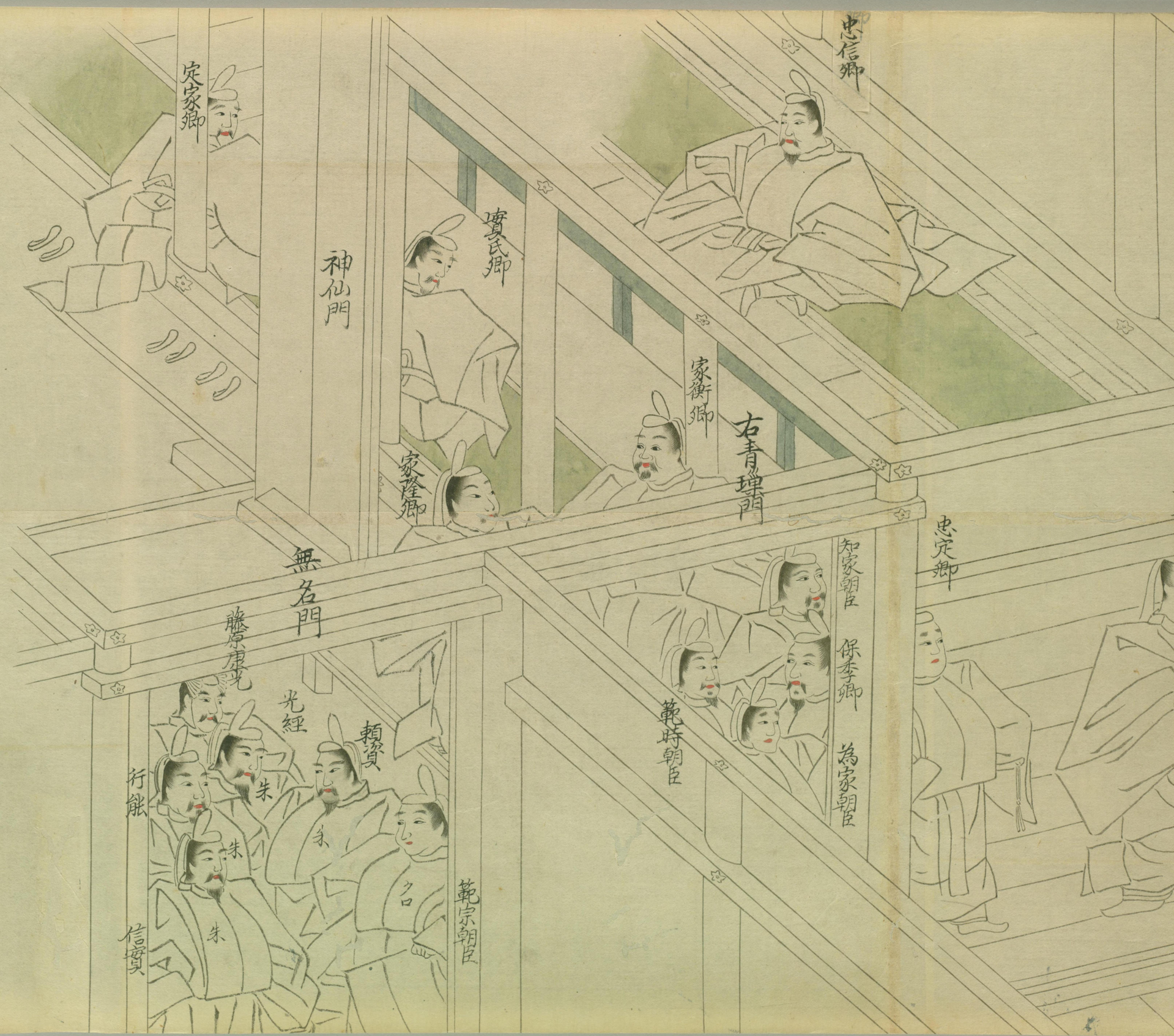
国立国会図書館　タイトル『建保中殿御会図』　請求記号 亥二-32



国立国会図書館　タイトル『建保中殿御会図』　請求記号 亥二-32

遠保六年八月十三日　壬子

於中殿初講和謌題云也明久明代時



国立国会図書館　タイトル『建保中殿御会図』　請求記号 亥二-32

建保六年八月十三日　壬子

於中殿初講和謌題ニ池月久明式時

御直衣　御張袴

御書御座　御剱如恒頭中將

孫廂南第二間ニ　先例有御

雅朝臣　呂公卿

南面折敷四座

遊仙人ニ盃ヲ　右大臣　右近大將源朝臣

左宰相中將藤原朝臣　權大納言藤原朝臣　中納言

藤原朝臣　澄雅　前右兵衛督源朝臣　柏子　修理大

藤原朝臣　留　左近衛中將藤原朝臣　家聲　左大弁

中將藤原朝臣　基氏　右兵衛督藤原朝臣　雅　筆藻

殿上人　侍　賢子　賢雅朝臣　依付哥ヲ　五位殿上人　置御遊

具不中將　持参御琵琶　玄上　置右大臣座前

呂　安倍ヲ　角被

中務藤原朝臣基業　右兵衛督藤原朝臣雅業

殿上人侍賢子　賀茂朝臣伯付殿上　五位殿上人置御遊

具不中將相參御琵琶　玄上　置右大臣座前

右近取之參進御前絲竹發音　呂安名尊　廣田鳥急律

万歳樂　更衣三臺急　事了俗人退下次撤御膳具置文

臺立切燈臺　五位數讀師四座　文章博士藤原朝臣　遍長押子　座

數讀師四座　在文臺前卿　長押子　權大納言藤原朝臣　源朝臣

右兵衛督藤原朝臣　左近中將藤原朝臣　實　加冠座

殿上人六位以上次第置膳　侍者

右近衛源朝臣　檢納言藤原朝臣　良　源朝臣　通

中納言藤原朝臣　淳　右衛門督藤原朝臣　右近中將

藤原朝臣　實　民部卿藤原朝臣　右近中將藤原朝臣　經

中宮權大夫藤原朝臣　右兵衛督藤原朝臣　家　淳二位

臺立切燈臺五位數讀師因陸 遍長押子 六位

數讀師圓陸 在文臺前卿 㐂長押子 權大納言藤原朝臣 源朝臣

右京門督藤原朝臣 右近中將藤原朝臣 實 加賀守

殿上人以位以上次第置畳 右大臣 序者

右近衛源朝臣 檢納言藤原朝臣 良 源朝臣 通

中納言藤原朝臣 澄 右馬頭檢藤原朝臣 右近中將

藤原朝臣 實 民部卿藤原朝臣 右近中將藤原朝臣 經

中宮檢右大夫藤原朝臣 右近衛權中將藤原朝臣 家 淺二位

藤原朝臣 家 右近中將藤原朝臣 基 宮內卿藤原朝臣

右近衛權中將藤原朝臣 淺二位藤原朝臣 保 知家朝臣

能宗朝臣 爲家朝臣 行能 頼實 信實

光經 藤原風光 次右大臣次讀師因陸 次二人

右京大夫讀師因陸 持明 講師能時朝臣 基陸

藤原朝臣家　右近中將藤原朝臣　次二位藤原朝臣　保　知家朝臣

右兵衛督藤原朝臣　範家朝臣　為家朝臣　行能　頼實　信實

兼時朝臣　光經　藤原顯光　次右大弁藤原師冬　次二人

名字未詳　居座講師　兼時朝臣　基隆　持明

自下觸次第講之　次海印寺大王依

天氣奉宣賜　御製後宴詩藤原

朝臣　御製講師滿座詠吟事了各

退下于時漢大雲出樂蘇月明瑤池出階

鋪三秋之凍銀臺金瓶映日更之霜

醉是群臣之樂吾道之興也

秋夜侍　中殿同詠池月久明應

秋夜侍　中殿同詠池月久明應

製和詩一首　并序

右大臣正位臣藤原朝臣道家上

秋月屬於誰人誰家之家之

明主也掬水沙却何處美容池之

勝形也賞洲兼趣命以寄遊親友

拂雲松影蓋面顆珠却百歲之風

昭古昭今鑄百練鏡於千秋之海

誠是月用池久調池清月共淨者歟

方今繰竹清時無筆硯遇筆用宴之

場　至操來必彈玄象垂之者

世和也好文之主和語必慣素戔嗚尊

国立国会図書館　タイトル『建保中殿御会図』　請求記号 亥二-32

安倉緑竹海時筆頑遇至用宴之
場　至操琴必弾玄象琴之者
此秋也好文之至和語必慣素鵞毛
之者　我君や小臣を龍顔半詠い
雲之詞深遠非考記一日之事其
毎日
あきのいまは月乃うつるいくちよか
ひとりぬれたれのかゝみとはうん
詠池月久朗和詩
いせをみ川よさきたのまはうつるもの
月もちゝ数ようけやそうん
秋夜陪　中殿同詠池月朗　嵯和詩
四二位行権大納言兼右近衛大将源朝臣通光
いくと勢ハ月乃こゝろはもかけこゝ

あきのいまは月乃うつるいくちよか
ひとりぬれたるのかゝみとはこゝん

詠池月久明和歌

いきみ川ゆききたるのまはなうつるもの
月もちゝ野ゝけうけやそゝん

秋夜陪　中殿同詠池月久明應　　寛和歌

正二位行權大納言兼左近衛大將源朝臣通光

いくゝ野ゝ月乃ゝふねもかけさゝし
たまゝゝくにたゝのゝゝれいけみ川

正二位　行權大納言藤原朝臣　公經

ちゝのあきはゝやゝきゝ月乃うけまゝくゝ
かゝゝゝきみゝにたゝゝゝいけこゝは

正二位　行權大納言藤原朝臣　良平

きみのゝのゝゝ野ゝ月乃ゝゝみをさゝそゝくゝ
月やゝゝれゝやすゝゝいけこゝ川

国立国会図書館　タイトル『建保中殿御会図』　請求記号 亥二-32

いくとせぬ月のこゝろぶねもかけさゝし
たましくにものゝふれいけみゝ

正二位行権大納言藤原朝臣公経

ちゝのあきはやをきぬ月のうけまゝく
かしこきみゝにものゝふるいけこゝ

正二位行権大納言藤原朝臣実孝

きみのゝのちゝ勢ゝのみをさゝゝ
月やゝれとやすあゝいもこゝ

正二位行権大納言臣源朝臣通具

ちゝのあきとゝきみにちきゝすむいけ
名をゝゝゝてもやゝゝる月ゝ

正二位行中納言正藤原朝臣隆衡

いくあきゝゝもゝぬ月のうけゝゝ
ちゝ秋のゝゝいけゝゝなん

正二位行権中納言兼左宗右兼藤原朝臣忠信

いけこゝはすむ（まこゝゝ）みゝ
ふこゝぬゝに月ゝはけゝゝ

国立国会図書館　タイトル『建保中殿御会図』　請求記号 亥二-32

いくあきのくもらぬ月のこのけさぞ
ちよにのこるいけのなみ

正二位行権中納言兼右衛督藤原朝臣忠信

いけ水川のすむへきちよのこけみそく
ふこらぬそらに月はさけやなさき

参議正三位行左兵衛督兼播磨権守藤原朝臣資氏

いきみ川よるのなけさ月やちきりそん
けふのちよのあさ乃ちよ川こそ

参議正三位行民部卿兼伊予権守藤原朝臣宗家

いくちよろてあるやまのみ川この秋も
をよちあいきにすゑん月かこそ

参議従三位行左衛門督兼備前権守藤原朝臣経通

いくちよにあさたにすゑくいけみ川も
宮井乃月はりもやとそそん

参議従二位行左兵衛督兼播磨権守藤原朝臣忠宗

ひさうの月のくみのいけ水ほうそう
きみのやちよのかけもそうあ

正二位行左兵衛督兼[illegible]藤原朝臣[illegible]

参議従三位行左兵衛督藤原朝臣経通卿

いくちよにあさたちてるあさくいけみ川
澄井の月はもるやとをそん

参議従三位行左兵衛督藤原朝臣忠定卿

ひさうの月のくもみのいけ澄てう
きみのやちよのかけもこそあ

正三位行左兵衛督藤原朝臣家衡卿

きみのよはのうたすめるいけ三川てう
ちと野ぬちさる秋の月のけ

従三位藤原朝臣家衡卿

いくあきのいけの澄まも波みてう瑚く
月をこそきそなんもしけ川た

従三位行左兵衛督藤原朝臣基輔卿

いくちよもきみをこそきさたけ川なんふ
のとけき月をやとをいけこ川

従三位行宮内卿藤原朝臣家経

よろ川よも月の光うわ波しき志まや

月をこそまちよせやなん月しけれ

従二位行左兵衛督藤原朝臣基良

いくちよもきみをこそまちよせけるなんふ
のちはさ月をやとしていけこころ

従三位行宮内卿藤原朝臣家隆

よろづよまもる月のかゝるわゝしきたまや
やまとしまねのすゑるいけみづ

従三位行左兵衛督藤原朝臣雅経

いせみづはいたかとなむさゝれしれ
かをそあらたすめる月のけ

従三位藤原朝臣[illegible]

きみのゝむちゝゝんいけこころ
ゆくとをうきくすゑる月も

正四位下行中宮亮藤原朝臣保季

いけこころのちゝしるまのすまは
ゆくとをうとなくゆもすむん

正四位行左少将藤原朝臣範時

正四位下行右大弁藤原朝臣範時

幾こゝの御世なれゆくまもるもちゝのあき
いけのかゝみよ月なすむへき

正位下行丹後守藤原朝臣範宗

きみのこゝのちゝ野もしるきいけのかゝ
ゝちにやとるあきの夜の月

従四位下行左兵衛督兼播磨守藤原朝臣為盛

くもゝうつしにゝゝるかゝみあきの川き
やとゝゝるいけもちよやすむへき

散位正五位下臣藤原朝臣行能

かけきよ岩いゝのかゝみゝてゝる川き岩
くもるときなくゝゝる川ゝゝ水

散位正五位下右近衛少将藤原朝臣頼資

いけみ川ゝあきてゝゝけをやゝゝゝく秋
ゝゝ位ゝゝあき月をすける

いけみ川よあきてうけをやどしく秋
ゝ
ゝ
ゝ

此一軸者順德院御宇建保六年於清涼殿宴圖也 閑公
行能信實陪其席行能記公宴大槩信實圖勝會
及群臣真容可謂千歲珍奇也其真跡秘
官庫不得輙見伯三品雅喬王辱蒙 勅免謄寫之 余
強請雅喬王書寫之訖

寛文八龍集戊申仲春上浣 朝議奉侍讀菅部卿清原經賢

中殿御會圖 寛政二年己酉 江都東叟祥子 秘本

寛政元年 甲斐梓 賀藏寫

寛政九年三月拜寫

主殿權助兼右少史紀朝臣行孝

国立国会図書館　タイトル『建保中殿御会図』　請求記号 亥二-32

中殿御會圖等和歌江都東平樣子秘事
既ニ[illegible]ニ[illegible]
なるべきものとなん

寛政元年[illegible]

甲斐權[illegible]賀[illegible]寫

寛政九年三月拜寫

主殿權助兼右少史紀朝臣行學

国立国会図書館　タイトル『建保中殿御会図』　請求記号 亥二-32